

漏水箇所を時短で簡単に発見!

漏水箇所検出 **ほぼ100%**の実績!

税制優遇
対象商品



NEW

水素ガス検知機
ハンター H2



ドイツ製

特許第6533279号

水素ガス造成装置

ハイドロトレーサー HT-30



日本製

ハンターH2とHT-30の導入実績!

導入前

- 2日かけて漏水を発見した。
- 漏水が見つからない事も多くあり、請求が難しい。
- 漏水探索には特殊な抜量が必要なので専門の業者に任せている。



導入後

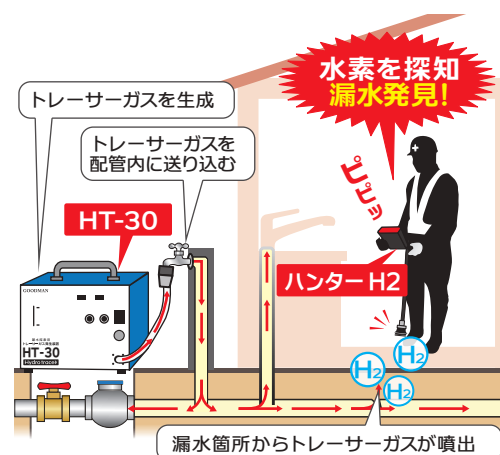
- 探索開始から約10分で漏水を発見!
- 探索費に加え管の修繕も行い信用も上がった。
- ネットや口コミの評判で仕事が増えた。

ハンターH2とHT-30の使い方!

- ① 止水栓等で水を止め、管を区切ります。
- ② 閉鎖された管内の水を全て抜きます。
- ③ HT-30で管内全てにトレーサーガスを充填します。
- ④ 管の破損箇所からガスが流出します。
- ⑤ 外に漏れ出たトレーサーガスを「ハンターH2」で検知します。



アニメ動画
はこちら▶



現場で漏水探索用の水素ガスを造成!

宅内漏水は水素ガス方式でほぼ100%ピンポイント検出!

漏水探索用トレーサーガス造成機

ハイドロトレーサー
HT-30

原料は安心・安全・安価な純水のみ!

生成するガスは水素含有量4%以下に調整した安全なガスです!

1年保証



日本製

- 扱いやすいサイズで持ち運びも楽々!
重く高圧なガスボンベを使用しないため、安全に漏水探索ができます!
- トレーサーガスを大量に使用する現場でも**ガス不足の心配なし!**
- 高額なガスボンベの購入が不要です!
- スイッチ1つの**簡単操作**で家庭用電源(100V)や小型の発電機でいつでもガスの供給が可能です!



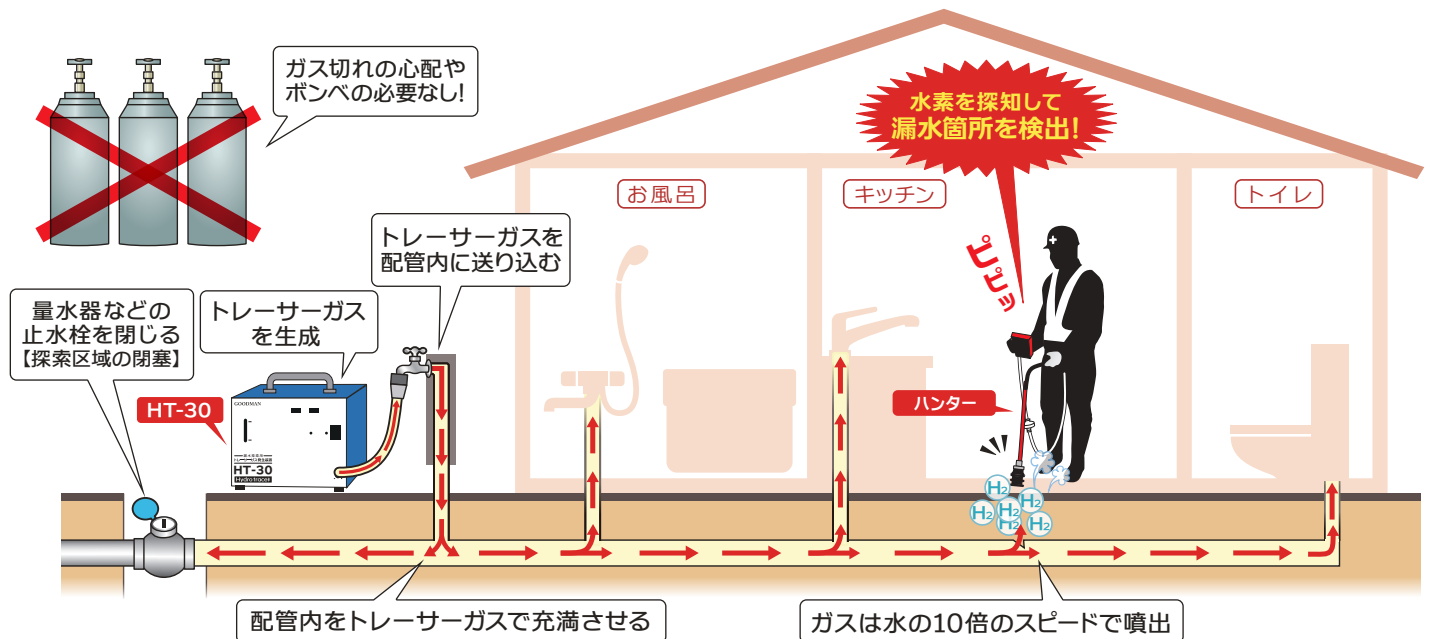
特許第6533279号

「水素式漏水探索機」なら環境音や管種・水圧などにかかわらず音聴不要で探索できます!

- メーター以降の建物内の漏水箇所検出に絶大な威力を発揮します。
- 塩ビ管・ポリ管・鋼管・鋳鉄管を含むあらゆる管材や口径に対応します。
- 舗装・コンクリートを含むあらゆる路面や建物内の漏水箇所もピンポイント検出。



▲詳しくはHPへ!



仕様

トレーサーガス成分: 水素最大4%以下
最大トレーサーガス発生圧力: 約0.4MPa(可変)
定格トレーサーガス発生量: 最大30ℓ/分
使用水: 純水

作動温度: 5℃~40℃
作動湿度: 85%以下
電源: AC100V、500W

【寸法/重量】W310×D300×H300mm/15kg
◎ 圧力計・流量計付
【付属品】電源コード・純水1ℓ
接続ホースセット(蛇口/メーター/排出用各1本)

漏れ出たトレーサーガスを素早く検出!

トレーサーガスを配管に注入する最先端の漏水検出方法!

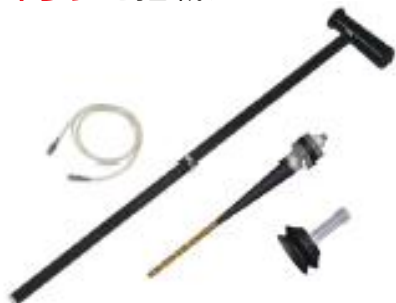
NEW トレーサーガス方式 漏水探索機 **ハンターH2**

中小企業経営強化税制
対象製品



水道配管や床暖房システムのわずかな漏れも簡単に特定できるトレーサーガス検知機!

- 漏水探索に特化した**2つのセンサー**を装備!
センサー1: 水素に特化した最小濃度0.1ppmの高分解能で非常に迅速に水素を検知。
センサー2: 高濃度の水素から1番目のセンサーを保護し、漏水箇所の特定に使用します。
- 素早い検知で効率的な探査が行える、小型で**強力なポンプ**を搭載。



軽量で取り回しの良いグラスファイバー製ロッド

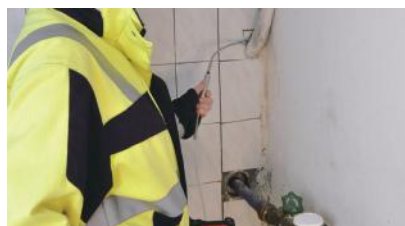


数値とグラフが見やすいバックライト付けLCD

更に便利なオプション品も充実!!



パイプ用空気濃度プローブ V2



狭い空間でも作業できます



本体取付ベルト



作業性を向上



カーペット
プローブ



路面の検査に威力を発揮する

仕様

センサー1
測定範囲: 0 ... 1.000 ppm H₂
分解能: 0,1 ppm
応答時間: T90 < 5秒 H₂(水素)
センサー2
測定範囲: 0 ... 5Vol.% H₂
分解能: 0,01 %
応答時間: T90 < 5秒 H₂(水素)

画面: LCDグラフィック ディスプレイ
128 x 64 ピクセル/バックライト
作動温度: -10° C ~ + 50° C
作動時間: >10時間
電源: NiMH充電式/バッテリーパック
ポンプ: >40ℓ/時, > 300 mbar

保護等級: IP54
寸法: 200 x 100 x 87 mm
重量: 1.1kg

トレーサーガス工法とは安全で無害なトレーサーガスを漏水のある配管内へ注入し、(漏水箇所より)噴出したトレーサーガスを外部から検出機で検知し、漏水箇所を特定する工法です。

**ダントツの
漏水発見率!!**

既存の
音聴方式と
異なり...



- ① 樹脂製配管(ポリ・塩ビ)などの難しい漏水にも有効
- ② 経験や熟練した技術が不要
- ③ パッキンの劣化による、にじむ様な微少漏水にも有効
- ④ 車や工場など、周囲の騒音があっても検出可
- ⑤ 耐圧試験に通らない新設管の配管にも有効
- ⑥ 土・アスファルト・コンクリートなど路面の状況にかかわらず検出可



DEMO動画

トレーサーガス工法の手順

1

量水器の止水栓を閉じて探索区域を閉塞し、蛇口などから配管内の水を排出します。

5

各水栓を開け、ガスの噴出を調べて配管内にガスが充満したことを確認します。

※確認後は必ず閉じてください。

2

トレーサーガス造成装置の吐出口に吐出用ホースを取り付けます。

排出用ホース 吐出用ホース

6

配管上を探索プローブで探索歩行します。配管路が不明な場合は暮盤の目に沿うように探索すると効果的です。

3

量水器に近い水栓に吐出用ホースを接続します。

※ガス注入時に水栓を開きます。
※必ず逆止弁を取り外してください。

7

漏水箇所が無い箇所では、機器は反応しません。

4

吐出用ホース接続箇所から一番遠い栓を開け、管内の残水を放出し注入したガスの噴出を確認します。

※ガスの噴出が確認できたら再度閉じて下さい。

8

漏水箇所に近づくと機器が音と光で発信し、画面の数値が上がります。この数値が最も高い地点が漏水箇所となります。

総販売元
株式会社

グッドマン

〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東2-3-3
フリーダイヤル:0120-26-5527

探索機のグッドマン

検索

<http://www.goodman-inc.co.jp>

仕様につきましては、予告なく変更する場合がございます



仕様は予告なく変更する場合がございます